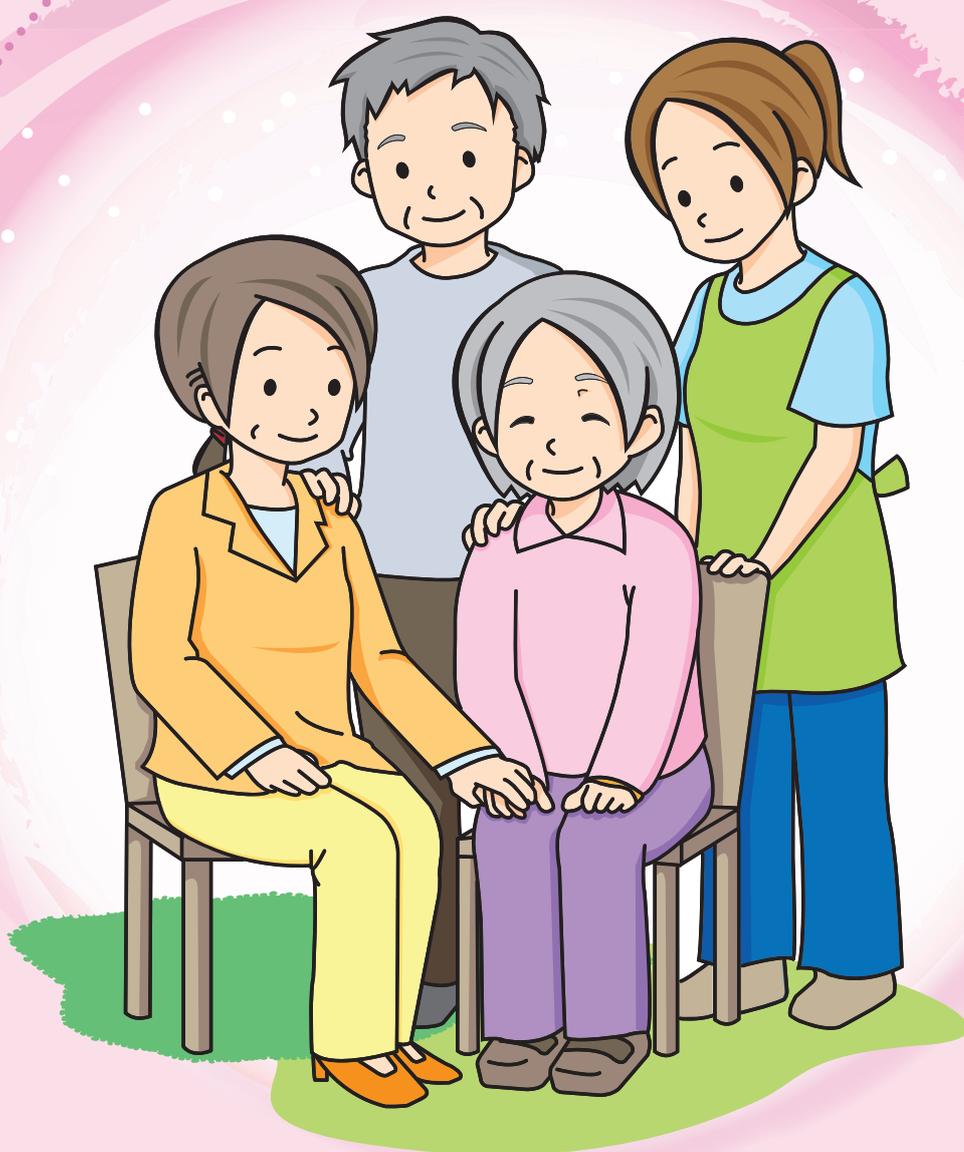


介護スタッフのための

緩和ケアマニュアル

～がん患者さんご家族が心穏やかに過ごせるように～



平成 29 年

千葉県

目次

はじめに	3
I 介護と緩和ケア	4
II がんの症状	5
III こころのつらさ	6
IV 介護が必要となる状況について	8
V 介護の実際	9
介護の基本的な考え方	
○食べられる量が減ってきたら	10
○からだを思うように動かせなくなったら	11
●歩行の支援／●立ち上がり動作の支援／●安楽な姿勢や動きへの支援	
●リラクゼーション	
●排泄ケア／●清潔ケア／●口腔ケア／●水分摂取の援助	
○話をするのがつらくなってきたら	26
看取りが近づいてきたときの変化	
○呼吸の変化に気づいたら	27
○そのまま見守ってもいいからだの変化	28
○医療職に連絡が必要なからだの変化	29
VI 家族へのケア	30
VII 呼吸が止まったときの対応	31

I がんの痛み 32

(1) がんの痛み（症状）と気がり

(2) 痛みと介護

(3) 痛みの治療、特に医療用麻薬について

● 医療用麻薬の使い方

① 鎮痛薬の選び方

- ・ WHO 三段階除痛ラダー

② 鎮痛薬の使い方

- ・ 鎮痛薬使用の5原則

● 医療用麻薬の副作用について

● 医療用麻薬に関するQ&A

II 口腔ケア 38

● 終末期の患者さんの口腔トラブル

● 口腔ケアに使うもの

● 口腔ケアの実際

あとがき 40

はじめに

現在、がんは死因のトップであり、全死亡者数の1/3を占めています。

千葉県では、急速な高齢化が進み高齢社会に突入し、今後、高齢者のがん患者は増える見込みであり、ご自宅だけでなく、老人ホームや介護施設などのさまざまな施設で過ごす患者が増えると予想されます。

住み慣れた施設において、がん患者が安心して最後まで過ごせるようにするためには、介護スタッフの方々にも「緩和ケア」の普及が必要と考えます。

現在は、がんと診断された時から治療と並行して「緩和ケア」を受けるようになっていきます。さらに心不全などがん以外の他の病気も緩和ケアの対象になってきていますが、この冊子では、対象を「がん終末期」に限定した内容としました。

本冊子、“介護スタッフのための緩和ケアマニュアル”は、「がん終末期」の患者さんが、心地よい介護を受けることで穏やかな療養ができることをめざしています。

介護スタッフの方々が、がん患者さんの最後に起こってくる症状や経過を理解することで、「緩和ケア」や「看取り」にかかわる際の不安やためらいが少しでも軽減できることを願っています。

タイトルは、“介護スタッフのための緩和ケアマニュアル”になっていますが、介護職だけでなく、ご家族、県民の皆さん、全ての医療関係者・介護福祉関係者にも是非読んで欲しいと思っています。多くの皆さんに活用していただき、がんになっても、最後まで住み慣れた地域で生活したいと願っている患者さんのためにお役に立てることを願っています。